

転ばぬ先のかわら版 vol. 4 平成23年夏号

発行：千葉司法書士会 法教育推進委員会

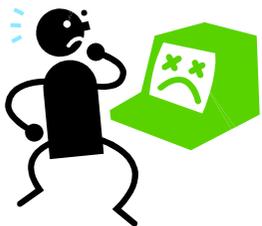
夏がやってくると余暇時間を利用して、アルバイトを始めようとする人も多いと思います。ところが、いざアルバイトを探してみると、なかなか時間の都合や勤務場所、時給の問題で自分に向いたバイトが見つからないことも多いです。そういう場合、次は家でできる小遣い稼ぎはないだろうかと思いませんか？今回は在宅ビジネスの事例を紹介します。

ドロップ SHIPPINGを知っていますか？

ドロップ SHIPPINGとは、特定の業者と事前に契約をしておき、特定の商品を自分のホームページ、ブログなどで出品します。それを見た人から注文があった場合、配送業者に連絡を取り、直接商品を注文者に送ってもらいます。出品者は仕入れ値と売値の差額で利益を得るというビジネスです。

メリットは、何よりも在庫を一切持たなくてもよいことです。注文を受けるたびに、仕入れて即売するので、倉庫もいらないし、入金確認後に配送業者に連絡するので、リスクがなく注文がどんどん入り、確実に儲かるというのが売り文句です。

ドロップ SHIPPINGというと耳慣れないかもしれませんが、要するにネット通販の一つの形態であるということです。これなら、パソコンや携帯があればすぐに始められそうな夢の仕事と思いませんか？



ドロップ SHIPPINGの問題点

ドロップ SHIPPINGを自分で立ち上げたいと考えた場合、ビジネス参入時に、まとまった金を配送業者に支払う契約になっていることが多いです。こういう業者は複数存在しますが、おおよそ 200 万円前後の金が

開業時に必要になります。一見すると、そんなの無理だと思うかもしれませんが、相手側は「1日わずか10分から30分で、月商500万円以上も可能」などと語り、さも初期投資がすぐ回収できる印象を与えます。

冷静に考えて、もしあなたが顧客だとしたら、アマゾンや楽天のような大手業者よりすこし安かったとしても前金でよく知らない他人のサイトから高価な商品を買いたいと考えますか？

実際のところ、業者の売り文句のように儲かるというケースは少ないようで、開業時に支払ったお金を回収することができずに困っている人が多数存在するようです。

被害に遭わないためには

ドロップ SHIPPINGを勧めるサイトの売り言葉は、「短時間」「手間いらず」「少ない初期投資」（一般のビジネスに比べて）の要素はしっかり満たしているように見えます。そう思う背景として、ネット通販の好調が、マスコミを通して一般の人にも浸透していることがあげられます。

しかし、そのアマゾンでも初期は赤字の時期がかなり続いていましたし、軌道に乗るまでには相当大変な時代もあったのです。

売れるという保証はどこにもないのに、甘い言葉ばかりが並んでいます。

ドロップ SHIPPINGを問わず、この手のネットビジネスは、まず、「そんなに儲かるのなら自分でやればいいのではないか。」という根本の疑問が解消されていません。騙されてしまう心理の中に、『楽しんで金儲け』というところにつけこまれてしまうのです。

もし被害にあってしまったら・・・

一日も早く消費生活センターや弁護士・司法書士に相談しましょう。早ければ早いほど、被害の拡大を防ぐことができます。



※お問い合わせ先：千葉司法書士会事務局 043-246-2666